

第2学年 生活科学習活動案

日時：平成14年10月18日（金）6校時

児童：2年2組（男10名女12名計22名）

指導者：武田 美穂

場所：教室

1 単元名 町となかよし 「町のすてきをはっぴょうしよう」

2 単元について

(1) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容（3）「自分たちの生活は地域の人々や様々な場所とかわっていることが分かり、それらに親しみをもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする」（4）「公共物や公共施設はみんなのものであることやそれをささえている人々がいることなどが分かり、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用することができる」（5）「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることや自分に気付き、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする」に基づくものである。

本単元では、春の町探検を発展させ、地域社会とのかかわりをさらに深めることをねらいとしている。普段当たり前に思っている地域社会での生活を意識させることにより、さらに深くかかわりたいという思いを持たせたい。地域の良さを発見し、さらに町を好きになるよう、人や自然とのかかわりを深める活動をしたい。そして、自分が大好きで大切にしたい場所や人を見つけ、この町にくらしている喜びを感じさせたい。これらの活動を通して、地域社会の一員としての「気づき」の第一歩としたい。

(2) 児童について

学級の児童は、どの教科も意欲的に取り組んでいる。特に、生活科の学習を好み楽しみにしている。春の町探検では、お店や自然を中心にあくさんの「ひみつ」を見つけることができ、また町に出る機会を心待ちにしている。反面、活動は楽しむが、まとめる活動で友だちに何を伝えたいのか整理できない児童もいくらかいる。

コンピュータを使った学習には1学年から慣れ親しんでおり、どの子も意欲的である。2学年では、図工の時間にお絵かきソフトを使ってプリントファイルの表紙を作る活動をした。算数や生活科では、課題解決のために教師が使用するのを見ており、もっと使用したいという気持ちが高まってきている。

(3) 指導にあたって

本単元の指導を通して、6月に探検した区域から範囲を少し広げ、さらに地域の人々や自然に積極的に関わろうとするようにさせていきたい。「町にもう一度飛び出したい。」という意欲を喚起し、春に関わった地域の人ともっと仲良くなり、「町のひみつ」から一歩進んだ「町のすてき」に気づかせたい。

(4) 単元におけるコンピュータ活用

本単元では、コンピュータをまとめ・伝達の道具として活用する。町探検の様子をデジタルカメラで撮影し、その写真を使ってグループごとのまとめ・発表の手段として使用すれば、児童の意欲が持続し、相手に分かりやすく伝えることができるのではないかと考える。また、活動の様子やまとめを「山田町子ども電子マップ・南小編」に記録しておき、いつでも取り出してみることができるようしておく。これを活動の最後の時間に見て振り返り、お礼の手紙を書くための意欲付けとしたい。

3 単元の目標

(関心・意欲・態度)

- ・地域に親しみを持ってかかわるとともに、公共施設を大切に利用しようとする。
- ・進んで地域の人々や公共施設などとかかわり、自然や行事、暮らしについて調べようとする。

(思考・表現)

- ・地域との適切なかかわり方や公共施設の利用方法について考え、安全に生活することができる。
- ・地域の人々や公共施設などとかかわり、自然や行事、暮らしについて調べるとともに調べたりかかわったりして気づいたことを工夫して表現し、教え合うことができる。

(気づき)

- ・自分の生活は、地域の人やさまざまな公共施設とかかわりを持っていることが分かる。

4 活動計画 (12時間)

活 動 内 容	時間	コンピュータおよび周辺機器の使い方
町ともっとなかよくなるよう ・行ってみたい場所や調べてくることについて話し合う。 ・約束を守って、楽しく探検する。	6時間	
	2	
	4	デジタルカメラ、ビデオカメラ
町のすてきを発表しよう ・紹介する内容や方法を決める。 ・紹介するときを使うものを準備する。 ・グループごとに発表する。 ・お世話になった人にお礼のお手紙を書く。	6時間	
	1	
	3	コンピュータ (まとめの道具)
	1	コンピュータ・プロジェクタ (伝達の道具)
	(本時)	
	1	コンピュータ・プロジェクタ (意欲を高めるための道具)

5 本時の活動

(1) 目標

(関心・意欲・態度)

- ・地域の良さを見つけたり教えたりしようとする。

(思考・表現)

- ・地域の良さを工夫して表現することができる。

(気付く)

- ・これまで知らなかった地域のいろいろな良さが分かる。

(2) コンピュータ活用の視点

町探検で見つけたことや気がついたことをまとめる際に、多様な形(絵地図、紙芝居、絵本、ペープサート、かるた、クイズなど)で表現し、友だちと交流することにより、学ぶ喜びが味わえるのではないかと考える。

- <使用者>教師・児童 <場面>展開 伝達の道具
- 使用ソフト パワーポイント
- 周辺機器 プロジェクター

(3) 展開

◎主発問 ●指示 ◇支援 ☆評価

段階	学 習 活 動	主発問と指示・予想される反応	支援と評価の工夫
つかむ 3分	1 学習内容をつかむ。 2 学習課題をつかむ。	◎きょうは、グループごとに探検した「町のすてき」を紹介しましょう。 「町のすてき」を しょうかいしよう。	◇課題をおさえさせる。
見通す 3分	3 発表する視点、発表を聞く視点を確認する。	◎発表する人は、大きな声でみんなが分かるように発表しましょう。聞く人は、「町のすてき」はどこかを考えながら聞きましょう。	◇活動の見通しを持たせる。
ふかめる 34分	4 発表する。	◎友だちの発表から「町のすてき」を見つけましょう。 ・絵地図 ・紙芝居 ・絵本 ・ペープサート ・かるた ・クイズ ◎グループの発表を聞いて、良かった点やもっと聞いてみたいことを話し合しましょう。 ・町のすてきが分かった。 ・見やすくまとめている。 ・写真を使っている。 ・コンピュータを使っている。 ・大きな声で発表している。	◇グループが発表する前に、その内容について期待を持つことができるように一言助言する。 ◇コンピュータ・プロジェクト（伝達の道具） ☆意欲的に発表したり聞いたりしているか。（観察・カード） ☆工夫して発表しようとしているか。（発表） ☆「町のすてき」に気づくことができたか。（発表・観察）
まとめ 4分	5 学習のまとめをする。 6 次の予告をする。	◎「町のすてき」の発表会の感想を発表してください。 ・「町のすてき」を友だちに伝えることができた。 ・友だちの発表から「町のすてき」がわかった。 ● 次の時間は、お世話になった人に手紙を書きます。	☆「町のすてき」に気づくことができたか。（感想）

(4) 評価

(関心・意欲・態度)

・地域の良さを見つけたり教えたりしようとすることができたか。(発表・観察)

(思考・表現)

・地域の良さを工夫して表現することができたか。(発表)

(気付き)

・これまで知らなかった地域のいろいろな良さが分かったか。(発表・カード)

6 板書計画

町となかよし

町のすてきをしょうかいしよう。

町のすてきなところは

○大きな声で
○どんな「すてき」があるかな?

・絵本 ・絵地図 ・紙芝居 ・ペープサート ・かるた ・クイズ